



## 2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月24日

上場会社名 日本車輛製造株式会社  
 コード番号 7102 URL <https://www.n-sharyo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月5日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 (氏名) 五十嵐 一弘  
 (氏名) 深谷 道一  
 TEL 052-882-3316

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	21,824	28.0	1,650	3.4	1,648	15.6	1,393	15.4
2019年3月期第1四半期	17,056	21.7	1,595	129.3	1,952	155.0	1,646	76.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 959百万円 ( 56.5%) 2019年3月期第1四半期 2,208百万円 ( 71.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	96.51	
2019年3月期第1四半期	114.09	

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	128,940	33,401	25.8
2019年3月期	134,194	32,446	24.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 33,283百万円 2019年3月期 32,327百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		0.00	0.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	28.4	1,500	55.4	1,500	61.3	1,300	64.8	90.07
通期	87,000	4.6	2,700	68.2	2,700	69.5	2,500	72.8	173.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	14,675,012 株	2019年3月期	14,675,012 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	241,282 株	2019年3月期	241,136 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	14,433,803 株	2019年3月期1Q	14,434,291 株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、各種政策の効果などにより雇用や設備投資が改善しているものの、アジアなど海外景気の減速などにより生産、輸出に弱さが見られます。

このような経営環境のもと、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、鉄道車両、輸送用機器、鉄構の売上が増加したことなどにより、売上高は前年同四半期比28.0%増加の21,824百万円となりました。利益面につきましては、建設機械事業、エンジニアリング事業における利益の減少、鉄道車両事業、輸送用機器・鉄構事業における利益の増加などにより、営業利益は前年同四半期比3.4%増加の1,650百万円、経常利益は前年同四半期比15.6%減少の1,648百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比15.4%減少の1,393百万円となりました。

セグメント別状況は以下のとおりであります。

#### ①鉄道車両事業

JR東海向けN700A新幹線電車のほか、東京メトロ向け電車、インドネシア向け電車などの売上があり、前年同四半期に比して海外向け車両が増加したことなどから、鉄道車両事業の売上高は10,192百万円となり、前年同四半期比83.5%増加となりました。

#### ②輸送用機器・鉄構事業

輸送用機器におきましては、タンク貨車、タンクコンテナ、LPGタンクローリ、貯槽などの売上が前年同四半期に比して増加したことなどから、売上高は2,476百万円と前年同四半期比63.5%増加となりました。

鉄構におきましては、福岡高速6号線香椎浜高架橋、高知東部自動車道高知中央IC第1高架橋、東海道新幹線大規模改修工事などの売上があったことなどにより、売上高は3,463百万円と前年同四半期比21.6%増加となりました。

以上の結果、輸送用機器・鉄構事業の売上高は5,940百万円と前年同四半期比36.1%増加となりました。

#### ③建設機械事業

建設機械において国内向けで東日本大震災復興工事、東京オリンピック関連工事や都市再開発工事の需要などにより大型杭打機などの売上が引き続き高い水準となりましたが、全回転チュービング装置や発電機などが前年同四半期に比して減少したことなどにより、建設機械事業の売上高は5,146百万円と前年同四半期比15.2%減少となりました。

#### ④エンジニアリング事業

鉄道事業者向け車両検修設備のほか、各地のJA向け営農プラント、家庭紙メーカー向け製造設備などの売上がありましたが、前年同四半期に比して製紙関連設備が減少したことなどにより、エンジニアリング事業の売上高は、526百万円となり、前年同四半期比49.6%減少となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

前期末に比べ3.9%減少し128,940百万円となりました。これは、国内向け鉄道車両で回収が進捗したことから売掛金が減少したことや、海外向け鉄道車両の仕掛品が減少したことなどによるものであります。

#### ②負債

前期末に比べ6.1%減少し95,538百万円となりました。これは、鉄道車両に係る買掛金や前受金が減少したことなどによるものであります。

#### ③純資産

前期末に比べ2.9%増加し33,401百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益のため利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想につきましては、前回(2019年4月24日付け)公表いたしました予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,523	5,092
受取手形及び売掛金	27,355	22,789
電子記録債権	1,535	1,899
商品及び製品	1,526	2,060
半製品	1,143	1,166
仕掛品	27,533	26,704
原材料及び貯蔵品	1,280	1,186
その他	9,146	9,351
貸倒引当金	△45	△14
流動資産合計	75,000	70,237
固定資産		
有形固定資産		
土地	14,971	14,971
その他(純額)	13,442	13,542
有形固定資産合計	28,413	28,514
無形固定資産		
	855	804
投資その他の資産		
投資有価証券	21,157	20,661
退職給付に係る資産	7,910	7,892
その他	884	850
貸倒引当金	△26	△20
投資その他の資産合計	29,925	29,384
固定資産合計	59,194	58,703
資産合計	134,194	128,940
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,513	7,829
電子記録債務	10,694	10,534
1年内返済予定の長期借入金	295	299
未払法人税等	537	111
前受金	4,280	1,751
賞与引当金	1,796	2,689
工事損失引当金	175	203
受注損失引当金	1,837	1,339
その他	8,166	6,639
流動負債合計	37,297	31,399
固定負債		
長期借入金	55,219	55,120
引当金	290	250
退職給付に係る負債	292	302
その他	8,648	8,465
固定負債合計	64,450	64,139
負債合計	101,748	95,538

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,810	11,810
資本剰余金	—	—
利益剰余金	9,585	10,978
自己株式	△517	△517
株主資本合計	20,878	22,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,919	8,575
為替換算調整勘定	△2,223	△2,218
退職給付に係る調整累計額	4,753	4,654
その他の包括利益累計額合計	11,449	11,011
非支配株主持分	118	118
純資産合計	32,446	33,401
負債純資産合計	134,194	128,940

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	17,056	21,824
売上原価	13,748	18,361
売上総利益	3,307	3,462
販売費及び一般管理費	1,712	1,812
営業利益	1,595	1,650
営業外収益		
受取利息	10	7
受取配当金	161	171
持分法による投資利益	7	—
為替差益	259	—
その他	32	87
営業外収益合計	471	266
営業外費用		
支払利息	86	88
持分法による投資損失	—	1
為替差損	—	153
その他	27	25
営業外費用合計	114	268
経常利益	1,952	1,648
特別利益		
固定資産売却益	11	5
投資有価証券売却益	—	19
その他	—	3
特別利益合計	11	28
特別損失		
固定資産除売却損	35	8
減損損失	14	—
特別損失合計	50	8
税金等調整前四半期純利益	1,913	1,668
法人税等	260	271
四半期純利益	1,653	1,397
非支配株主に帰属する四半期純利益	6	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,646	1,393

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,653	1,397
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	740	△335
繰延ヘッジ損益	7	—
為替換算調整勘定	△82	5
退職給付に係る調整額	△112	△99
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△7
その他の包括利益合計	554	△437
四半期包括利益	2,208	959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,201	955
非支配株主に係る四半期包括利益	6	4



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(顧客との契約から生じる収益(ASC第606号)の適用)

米国会計基準を適用している在外連結子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を当第1四半期連結会計期間より適用しております。なお、四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(追加情報)

(親会社へ譲渡した固定資産)

当社は、2017年4月20日に豊川製作所、衣浦製作所、鳴海製作所の工場資産を当社の親会社(東海旅客鉄道株)へ譲渡しました。当該取引は、当社の親会社との取引であり、かつ、譲渡した工場資産は譲渡後も親会社との間で賃貸借契約を締結して当社が従前どおり工場として使用を継続しているため、これら工場資産の土地およびその他の有形固定資産については売買処理を行っておらず、有形固定資産に計上しております。なお、当該取引はファイナンス・リース取引には該当しないため、工場資産の譲渡価額は長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)に計上しております。また、譲渡した工場資産に係る設備投資についてもその他の有形固定資産に計上するとともに、設備投資額の一部を長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)に計上しております。

上記の結果、2019年6月末日における計上額は、土地11,975百万円、その他の有形固定資産3,844百万円(いずれも2019年6月末日の帳簿価額)であり、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の残高は20,447百万円であります。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄道車両 事業	輸送用機器 ・鉄構事業	建設機械 事業	エンジニアリ ング事業				
売上高								
外部顧客への売上高	5,554	4,363	6,070	1,044	23	17,056	—	17,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	63	—	20	42	151	△151	—
計	5,578	4,427	6,070	1,065	65	17,207	△151	17,056
セグメント利益	154	435	1,293	10	13	1,908	△313	1,595

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、レーザ加工機の製造・販売などを含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、全社費用△316百万円、棚卸資産の調整額△8百万円およびセグメント間取引消去10百万円などが含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
重要性がないため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	鉄道車両 事業	輸送用機器 ・鉄構事業	建設機械 事業	エンジニアリ ング事業				
売上高								
外部顧客への売上高	10,192	5,940	5,146	526	18	21,824	—	21,824
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	23	—	—	31	90	△90	—
計	10,227	5,963	5,146	526	50	21,915	△90	21,824
セグメント利益又は損失 (△)	594	515	886	△66	23	1,952	△302	1,650

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、レーザ加工機の製造・販売などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、全社費用△310百万円、棚卸資産の調整額4百万円およびセグメント間取引消去4百万円などが含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)  
該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### (1) 生産、受注及び販売の状況

##### ①生産実績

事業区分	前第1四半期連結累計期間 (2018.4.1～2018.6.30)		当第1四半期連結累計期間 (2019.4.1～2019.6.30)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
鉄道車両	10,143	46.5	9,794	45.8
輸送用機器・鉄構	4,806	22.0	5,690	26.6
建設機械	5,490	25.1	4,989	23.3
エンジニアリング	1,373	6.3	920	4.3
その他	13	0.1	7	0.0
合計	21,825	100.0	21,401	100.0

##### ②受注状況

事業区分	前第1四半期連結累計期間 (2018.4.1～2018.6.30)		当第1四半期連結累計期間 (2019.4.1～2019.6.30)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注高	鉄道車両	8,303	38.6	1,929	14.9
	輸送用機器・鉄構	4,477	20.8	3,348	25.9
	建設機械	6,957	32.3	6,176	47.7
	エンジニアリング	1,727	8.0	1,424	11.0
	その他	66	0.3	65	0.5
	合計	21,532	100.0	12,944	100.0
受注残高	鉄道車両	65,515	66.3	39,955	57.8
	輸送用機器・鉄構	26,749	27.1	22,423	32.4
	建設機械	3,437	3.5	3,977	5.7
	エンジニアリング	2,999	3.0	2,765	4.0
	その他	85	0.1	46	0.1
	合計	98,786	100.0	69,169	100.0

##### ③販売状況

事業区分	前第1四半期連結累計期間 (2018.4.1～2018.6.30)		当第1四半期連結累計期間 (2019.4.1～2019.6.30)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
鉄道車両	5,554 (115)	32.6	10,192 (3,659)	46.7
輸送用機器・鉄構	4,363 (-)	25.6	5,940 (-)	27.2
建設機械	6,070 (793)	35.6	5,146 (687)	23.6
エンジニアリング	1,044 (-)	6.1	526 (-)	2.4
その他	23 (-)	0.1	18 (-)	0.1
合計 (うち海外向け売上分)	17,056 (908)	100.0 (5.3)	21,824 (4,347)	100.0 (19.9)